

くりの実会

第2回定期演奏会

1988年10月1日(土) P.M. 6:30 開演

VARO HALL

ごあいさつ

本日はお忙しいところ、私共の演奏会にお越しいただきありがとうございます。

発足以来8年余、若い合唱団と言われてまいりましたが、年と共に、受験・転勤・親の病気など各々家庭の事情も厳しくなつてまいりました。しかし、辻先生の豊かで繊細な音楽性に加えてユーモア溢れるご指導のもと、会員一人一人の情熱と心をつなげて歌う喜びに魅せられて今日までまいりました。

これも家族の深い理解と友人等の力添えの賜と心より感謝しております。

本日は精一杯歌いますので、最後までお聴き頂ければ幸いです。

くりの実会々長 鬼久保朋子

イタリア留学の直前“一年間待つから帰国後に指導して欲しい”という変な依頼（というよりは実に強烈な命令）を受けた私は、帰国後、前任の指揮者の鈴木先生のような“やさしくても聞きばえのする選曲”なんて手間の掛ることはやめにして“良い作品、良い演奏、深い諦め”をモットーに、この二年余共に歩んで参りました。音が取りにくいと言つては団員に文句を言われ、ピアノ伴奏譜がつまらない、弾きたくないと伴奏者にニラミつけられると言う信じられない程に可哀想な境遇に置かれて来ましたが、今宵こそその復讐です。練習とは一味違った指揮で、くりの実を鳴(泣)かしてやるノ

指揮者 辻 秀幸

プログラム

指揮 辻 秀幸 ピアノ 本林良子

I Messe Basseより Gabriel Fauré 作曲
Kyrie/Sanctus/Agnus Dei

II こどものための合唱曲集「風のとおりみち」 三善 晃 作曲

かぞえうた(I) -opening-	谷川俊太郎 詩
栗の実	三善 晃 詩
うとてとこ	谷川俊太郎 詩
かっぱ	谷川俊太郎 詩
りすの子	三善 晃 詩
仔ぎつねの歌	三善 晃 詩
なんのき	谷川俊太郎 詩
ことこ	谷川俊太郎 詩
かぞえうた(II) -finale-	谷川俊太郎 詩

————— 休 憩 —————

III 女声合唱のための「日本のうた」 三枝成章 編

七つの子	野口雨情 作詞, 本居長世 作曲
ちんちん千鳥	北原白秋 作詞, 近衛秀麿 作曲
村 祭	文部省唱歌
中国地方の子守唄	中国地方民謡
この道	北原白秋 作詞, 山田耕筰 作曲
砂 山	北原白秋 作詞, 山田耕筰 作曲

IV 女声合唱曲「二つの愛のうた」 な だ・いなだ 作詩

いのりーアダンテ・カンタービレ	平吉毅州 作曲
もぐらのエレジー	

プロフィール

指揮者 辻 秀幸

昭和56年東京芸術大学声楽科卒業。
昭和59年同大学院独唱科修了。渡邊高之助、
関種子、下野昇、水谷ひさ子の各氏に声楽
を、小林道夫、佐々木正利の各氏に宗教音
楽を学ぶ。昭和60年ミラノ市に音楽留学。L.グッアリーニ 女史
に師事。留学中ウィーンに於て、C.ノートン、R.ホール、
H.ホッター、の各氏に師事し、ドイツ・リート、宗教音楽を学
ぶ。昭和61年イタリア・ノベラ市国際声楽コンクール入賞。同年
10月帰国。
団内では宗教曲のソリストとして活躍する他、オペラにも多数出
演している。最近はアマチュアコーラスの指揮、発声指導も多く
手掛けている。
ぐるーぶナーベ同人、クロスロードシンガーズのソリスト。



ピアニスト 本林 良子

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。
安川加寿子、高良芳枝、井上二葉の各氏に
師事。山手YMCA講師。



ボイス・トレーナー 望月あさ子

昭和60年東京学芸大学教育学部音楽科卒
業。声楽を竹沢喜明、大野徹也両氏に師事。
コールなかはら、滝山女声コーラス、女声
合唱 弥生、その他の合唱団のボイストレ
ーナー。



メンバー紹介

ソプラノ

石井 漢津	泉田 きよ子	市川 美枝子
伊藤 知子	及川 純子	大木 由記子
申本 千寿子	中山 美千代	橋本 和代
望月 あさ子	森 眞矢	森 岡 まき子

メゾソプラノ

秋元 喜美子	市田 秀子	小野 つる子
熊坂 みつ子	近藤 妙子	佐藤 澄子
田中 千穂	谷川 吉美	初田 美穂子
原田 雪子	宮下 彩子	山崎 米子

アルト

石田 浩美	石山 恭子	伊東 君代
乾 洋子	岩下 美枝子	尾形 和江
鬼久保 朋子	白桃 京子	須崎 泰子
清宮 佳子	竹石 幸江	渡辺 修子

打楽器伴奏

大沢 朋子
越智 直子
杉田 育子
関 矢圭子

ピアノ伴奏

石田 浩美

おさそい

歌のお好きな方、どうぞ
お越し下さい。

○練習日：毎週火曜日
AM 9:30~12:30

○練習場所
文京区勤労福祉会館

○連絡先：鬼久保
TEL (821)-7943